

糞便中のヘリコバクター・ピロリ抗原検出用
『テストメイト ラピッド ピロリ抗原[®]』検体の保存方法について
検査室における水様便の取り扱いについて

BDPOC-10-P3-01
2010/5/1

質問:病院検査室にて、便検体そのものが提出されましたが、その検体が極度の水様性を示す便でした。テストメイト ラピッド ピロリ抗原 検体希釈液の採便棒ではうまく検体がとれません。どのように検査したらよいでしょうか。

テストメイト ラピッド ピロリ抗原の採便量は検体希釈液に付属の採便棒の4つの溝がすべて便でうまるようにするのが適正ですが、水様性の便であるために溝をうめられない場合は、便を提出しなおしていただくことをお勧めします。

再提出をしてもらうことができずやむを得ず水様性の便で検査を実施する場合は、以下のような操作を行ってください。

1. 事前に適当なチューブ立てなどを用意してください。
2. 白ラベルをすべて剥がします。
3. オレンジキャップを下にして持ち、採便容器上部をゆっくり傾けて、上下分離部分を確認し、上部をゆっくり引き抜きます。
4. 希釈液をこぼさないように、採便容器下部をチューブ立てに立てます。
5. マイクロピペットとピペットチップを用いて、水様便20 µLを採取し、希釈液に加えます。
6. 採便容器上部をしっかりとめ込み、元に戻します。
7. 以下、通常の操作手順に従って、検査を行ってください。

注意事項

- テストメイト ラピッド ピロリ抗原は20 mgの便で検査するよう設計されていますので、上記の検体量を守ってください。それ以外の量を加えても正しい結果が得られないことがあります。
- 20 µLが正確に採取できるようであれば、他のスポイト等を用いて採取していただいても構いません。
- 便が柔らかい程度で、採便棒で採便できる場合は、できるだけ通常通り採便棒で採便して検査してください。

*テストメイトラピッドピロリ抗原はわかもと製薬株式会社の登録商標です。

*BD、BDロゴおよびその他の商標はBecton, Dickinson and Companyが保有します。©2010 BD

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
ダイアグノスティックシステム事業部
POCグループ
テクニカルサポート